

学校教育目標

ゆい
結の心

相手を敬い、優しく思いやる心

じん
韌の心

柔軟な強さを持つ心身

この学校目標は、令和4年度に、保護者・地域の皆様、教職員に、「本校の生徒に一番大切にしていってほしいもの」というアンケートをとらせていただき、その結果をもとに、地域の代表の方々、PTA代表の方、学校代表からなる学校運営協議会で検討を重ね、制定したものです。「覚えやすさ」を大切に、アンケートで回答数が多かった内容の意味を持つ言葉で表現しました。下の部分はそれをわかりやすい言葉で表したものです。この目標をもとに、学校教育の全体計画（グラウンドデザイン）、そしてこの学校教育目標達成のためのPDCA行程表をあわせて策定致しました。

この学校教育目標の達成に向け、保護者や地域の皆様の願いに一歩ずつ近づいていけるよう、日々教職員一同、全力で取り組んでいきます。よろしくご理解、ご協力をお願い致します。

[それぞれの言葉の意味]

『^{ゆい}結の心』…人と人が結びついていくときに大切な心を育てていく、という目標を表します。アンケートで最も回答数が多かったのが「思いやり」「優しさ」、そして「礼儀正しさ」でした。これらは、いずれも、人と人が接する時、その心と心とを結び付けていくために大切なものです。協調性や社会性、国際性といった意味も内包しています。

『^{じん}韌の心』…「韌」という言葉は「しなやかな強さ」を意味し、**そんな心や体を育てていくという目標を表します。**やはり回答数上位だった「心身の強さ」をこの文字で表しました。ただ強いだけでなく、困難にも柔軟に対応して乗り越えていく精神的・身体的強さをも意味します。向上心や正義感、自主性、自律の心といった意味を内包します。

愛川町立愛川中学校
校長 大泉 哲郎